

レポート番号：#642



Connected & Mobility Services

コネクテッドカーデータ サステナブルな管理と収益化戦略の構築

OEMの多くが、欧州、中国、米国など世界各国の主要市場に向けてデータ共有戦略を導入あるいは検討しています。これらの戦略は内製APIからサードパーティデータマーケットプレイスとの統合まで、その規模や範囲が異なります。同時に、こうしたサービスは地域によっても異なり、それぞれの地域で独自の実装をサポートしています。

自動車ユーザーエクスペリエンスにおけるコネクティビティの重要性の高まりに伴い、コネクテッド機能およびシステムから生成されるデータの重要も増しています。現在OEMがサポートするユースケースとデータの種類は地域により大きく異なります。こうしたデータを各地域で適切に管理および商用化するためにOEMがとっている対策は、エコシステムと共に進化しています。状況は急速に進化しているため、データ共有戦略を追跡することが困難となる可能性があります。

本書では、こうした違いを分析するとともにステークホルダーにとって最適なデータ共有の方法を詳細に解説します。また、第三者開発者の間で最も需要の高いデータタイプや、現在のデータ共有のユースケースについて特定します。このエコシステムの最前線にいるOEMと、その戦略をサポートするパートナーをプロフィールし、新たなデータ商用化戦略の立案を支援します。



目次

- はじめに
- 要旨
- 業界の動向
- 法的検討事項
- OEMのプロファイル
- サプライヤーのプロファイル
- 成功に向けたデータ編成
- 今後の検討事項

関連レポート

OTA及びソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド

レポート番号： 638

本書では各OEMのOTAによる提供機能や対応モデル、リリースサイクルが流動的に変化している中、常に最新状況が把握できるよう、OTAに関する各OEMの最新動向を四半期ごとにまとめ提供する。また、現在OEMが提供しているアップデート、そのプロセスで利用されている技術についても深掘りし紹介する。

対象市場

- | | | |
|----|-------|-----|
| 欧州 | 北米 | 中国 |
| 日本 | グローバル | その他 |

レポート発行頻度

- | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|
| | | | | |
| 毎年更新 | 半年更新 | 四半期更新 | 毎月更新 | ワンタイム |

レポート形態

- | | | | |
|-----|------------|-------|--------|
| | | | |
| PDF | PowerPoint | Excel | Online |

ページ数

- | |
|------|
| |
| 100+ |

データプログラムの成功には明確な付加価値戦略が不可欠

1 組織の成功はどのように定義すればよいか?

コネクテッドカーデータにより容易に収益を生み出せると考えられていたが、現実とはまったく異なり、データ自体はほとんど収益を生み出さない。データから真のインサイトや付加価値サービスを創出することで、自動車メーカーは成功への道を切り開くことができる。このようなプログラムを実施し市場に投入するには、組織の変革や膨大なリソースの投入が必要となる可能性がある。

2 法律によって機会が脅かされる可能性はあるか?

本書では、コネクテッドカーデータの活用・商用化に関する業界の動向を解説するとともに、様々なユースケースおよびアプローチをOEM/サプライヤー別にプロファイルし分析する。また、データプライバシーやニュートラルサーバーなどに関連する法的検討事項、効果的なデータ体系の確立に向けた提言を提供する。

3 競争に遅れずについていくにはどうすればよいか?

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「コネクテッドカーデータ：サステナブルな管理と収益化戦略の構築」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

